



KARATSU SHINKIN BANK

Mini Disclosure

2022年9月期



親しみ・信頼・確かな未来

唐津信用金庫

はじめに



日ごろより唐津信用金庫に対しまして格別のご愛顧、お引き立てを賜り誠にありがとうございます。

本年もここにミニディスクロージャー誌「KARATSU SHINKIN BANK Report2022年9月期」をご報告させていただきます。当金庫の業務内容や財務内容などについて、より一層ご理解いただくためのご参考になれば幸いです。

これからも地域の皆様から期待され必要とされる金融機関であり続けるために、健全経営の堅持に努め、役職員の総力を結集して顧客満足度を高める活動を進めてまいりますので、何卒変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年11月

理事長 落合正利

経営理念

～親しみ・信頼・確かな未来～

～4つのビジョン～

- ・信用金庫の特性を発揮します
- ・経営体質の強化に努めます
- ・経営の健全性を確保します
- ・魅力ある職場を目指します

当金庫の概要

創 業	1929年12月24日
本店所在地	佐賀県唐津市大名小路310番地の35
出資金	230百万円
会員数	8,665人
預金積金残高	96,903百万円
貸出金残高	53,286百万円
常勤役職員数	101人
店舗数	8店舗

(2022年9月末現在)



唐津信用金庫SDGs宣言

唐津信用金庫では ～親しみ・信頼・確かな未来～ を経営理念として掲げています。その実現に向けて2015年国連サミットで採択された「SDGs（持続可能な開発目標）」達成への取り組みを通じ、地元の中小企業者や住民の多様化・複雑化する社会課題の解決と持続可能な社会の実現に努め、地域金融機関として当金庫のビジネスモデルを踏まえたうえで取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



令和4年度の事業概況

当金庫の地域経済活性化への取組みについて

当金庫は、唐津・東松浦地域を事業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

預金積金、貸出金について

預金面におきましては、地公体等公金の獲得を抑えた推進を行いまして前年同期比1,110百万円減少し96,903百万円となりました。

一方、融資面におきましては、住宅資金、事業資金需要等に積極的に対応した結果、前期末比724百万円増加し53,286百万円となりました。

■預貸金の推移

単位：百万円

	2021年9月	2022年9月
預 金 積 金	98,013	96,903
貸 出 金	52,562	53,286

■業種別貸出金の状況

単位：百万円

業 種	2021年9月			2022年9月		
	貸出先数	貸出金残高	構成比	貸出先数	貸出金残高	構成比
製 造 業	58	1,927	3.6%	55	1,764	3.3%
農 業 ・ 林 業	22	417	0.7%	21	373	0.6%
漁 業	5	65	0.1%	4	54	0.1%
鉱 業	2	32	0.0%	2	28	0.0%
建 設 業	157	2,784	5.2%	160	2,716	5.0%
電 気 、 ガ ス 熱 供 給 、 水 道 業	7	326	0.6%	8	332	0.6%
情 報 、 通 信 業	3	78	0.1%	2	95	0.1%
運 輸 業	20	487	0.9%	22	447	0.8%
卸 売 業 、 小 売 業	217	4,044	7.6%	217	3,977	7.4%
金 融 、 保 険 業	10	581	1.1%	10	798	1.4%
不 動 産 業	113	5,016	9.5%	117	6,023	11.3%
物 品 賃 貸 業	1	0	0.0%	1	0	0.0%
学 術 研 究 、 専 門 、 技 術 サ ー ビ ス 業	12	112	0.2%	13	110	0.2%
宿 泊 業	18	673	1.2%	18	616	1.1%
飲 食 業	152	1,265	2.4%	149	1,329	2.4%
生 活 関 連 サ ー ビ ス 業 、 娯 楽 業	60	1,907	3.6%	59	1,618	3.0%
教 育 、 学 習 支 援 業	3	105	0.1%	3	97	0.1%
医 療 、 福 祉	32	806	1.5%	31	917	1.7%
そ の 他 サ ー ビ ス 業	89	1,132	2.1%	92	1,165	2.1%
小 計	981	21,757	41.3%	984	22,469	42.1%
地 方 公 共 団 体	2	6,430	12.2%	2	6,193	11.6%
個 人 （ 住 宅 、 消 費 、 納 税 資 金 等 ）	6,580	24,366	46.3%	6,378	24,623	46.2%
合 計	7,563	52,562	100.0%	7,364	53,286	100.0%

業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

収益について

収益状況におきましては、利回りの低下に伴い貸出金利息は減少しましたが有価証券利息配当金等の増加によって資金運用収益は増加しました。また臨時収益について今期株式売却や引当金戻入等がなく前年同期比で減少したことから、経常収益は前年同期比16百万円減の736百万円となりました。

経常費用は人件費、物件費を含む経費が減少し、資金調達費用や役員取引費用も減少いたしましたが、個別貸倒引当金繰入を含む臨時費用が増加したことから、前年同期比5百万円増加の637百万円となりました。

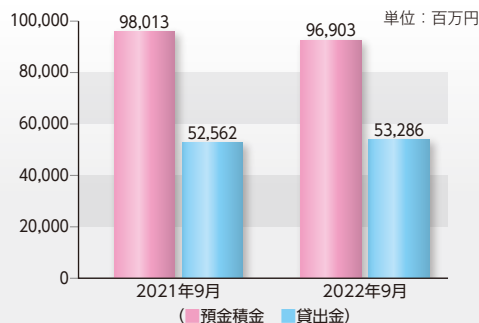
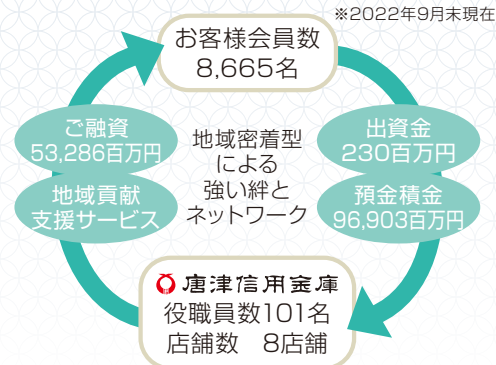
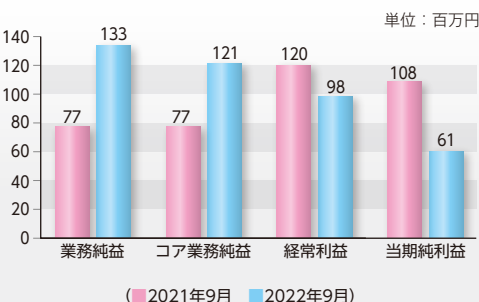
その結果、経常利益は前年同期比22百万円減少の98百万円となり、当期純利益は61百万円となりました。

また、金融機関の本来的な収益力を示すコア業務純益は、121百万円となりました。

■損益の状況

単位：百万円

	2021年9月	2022年9月
経 常 収 益	752	736
業 務 純 益	77	133
実 質 業 務 純 益	77	121
コ ア 業 務 純 益	77	121
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	77	72
経 常 利 益	120	98
当 期 純 利 益	108	61



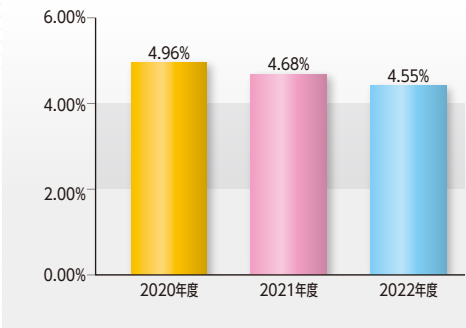
信用金庫法開示債権（リスク管理債権）及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

2022年9月末現在で資産査定を実施した結果、貸出金や債務保証見返等を含めた金融再生法に基づく不良債権額は2,436百万円となりました。
なお、貸出金等の総与信に対する不良債権額の割合は前期末対比0.13ポイント減少して4.55%となりました。

単位：百万円、%

区 分		開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証等による 回収見込額 (c)	貸倒引当金 (d)	保全率 (b) / (a)	引当率 (d) / (a-c)
破産更生債権及び これらに準ずる債権	2021年度	299	299	122	177	100.00	100.00
	2022年9月	497	497	226	271	100.00	100.00
危険債権	2021年度	2,046	1,964	1,631	333	95.99	80.24
	2022年9月	1,777	1,714	1,448	266	96.45	80.85
要管理債権	2021年度	166	21	21	0	12.98	0.25
	2022年9月	162	26	26	0	16.05	0.36
三月以上 延滞債権	2021年度	0	0	0	0	0.00	0.00
	2022年9月	0	0	0	0	0.00	0.00
貸出条件 緩和債権	2021年度	166	21	21	0	12.98	0.25
	2022年9月	162	26	26	0	16.05	0.36
小計 (A)	2021年度	2,511	2,284	1,774	510	90.96	69.20
	2022年9月	2,436	2,237	1,700	537	91.83	72.96
正常債権 (B)	2021年度	51,144					
	2022年9月	51,095					
総与信残高 (A) + (B)	2021年度	53,655					
	2022年9月	53,531					

金融再生法に基づく開示債権比率の推移



- (注) 1.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2.「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。
3.「要管理債権」とは、信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。
4.「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に該当しない貸出金です。
5.「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。
6.「正常債権 (B)」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「要管理債権」以外の債権です。
7.「担保・保証等による回収見込額 (c)」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
8.「貸倒引当金 (d)」には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。
9.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」中の社債(その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募(金融商品取引法第2条第3項)によるものに限る。)、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息及び仮払金並びに債務保証見返の各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券(使用貸借又は賃貸借契約によるものに限る。)です。

中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況

唐津くんち歴代ポスター展開催

2022年10月21日（金）より、当金庫本店営業部ロビーにおいて「唐津くんち歴代ポスター展」を開催いたしました。

同ポスター展は、コロナ禍により3年ぶりに通常開催となる唐津くんちを間近に控え、地域祭礼行事の活性化に寄与できればと開催したものです。来店されたお客様に大変好評をいただきました。



スポーツ振興への支援

2022年7月2日（土）に「第3回唐津信用金庫旗争奪少年軟式野球大会」（参加：17チーム）、10月8日（土）に「第2回唐津信用金庫旗争奪ボーイズリーグ大会」（参加：連盟加入3チーム）をそれぞれ開催いたしました。
当金庫は地域の発展を担う子供たちへの支援をこれからも続けてまいります。



自己資本比率について

金融機関の健全性を示す自己資本比率は7.97%となり、引き続き国内基準の4.00%を上回る高い健全性を維持しています。

当金庫では、資本の有効活用の観点から、適切なリスク管理のもと、地域のお客様に対する金融仲介機能の発揮に努めるとともに、経営の健全性維持と収益力の向上の両立を目指しています。

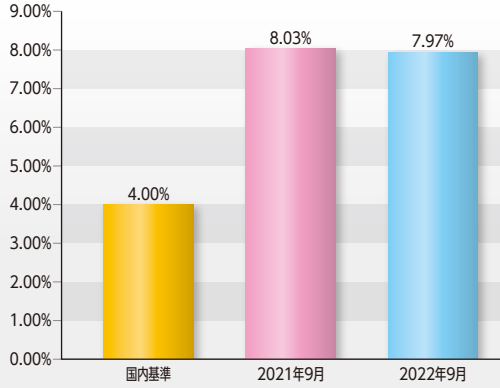
2022年9月期は、利益を計上し自己資本額は増加しましたが、一方で預け金や有価証券、事業性融資が増加したことから自己資本比率計算上の分母となるリスクアセットも増加し、自己資本比率は7.97%に止まりました。

なお、9月期の仮決算は、9月末の残高を基準に時価補正を行うなど、決算手続きに準じて計算を行っておりますが、簡便な取扱となっており、法定決算手続きによるものではありませんので、税効果等により変動することがあります。あくまで9月末の目安として捉えておりますのでご了承願います。

■自己資本比率

単位：百万円

	国内基準	2021年9月	2022年9月
コア資本に係る基礎項目（イ）		3,179	3,250
コア資本に係る調整項目（ロ）		12	14
自己資本額（イ）－（ロ）（ハ）		3,166	3,236
リスクアセット等合計額（ニ）		39,389	40,588
自己資本比率（ハ）／（ニ）	4.00%	8.03%	7.97%
総所要自己資本額		1,575	1,623



有価証券の状況について

有価証券運用におきましては、比較的安全な債券運用に加え運用の多様化を図り、投資信託等による運用ヘシフトし効率化を図っております。当年度の運用方針を定め、計画的に残高を積み増し収益の確保を図ってまいりました。また預け金につきましても定期預金を中心に運用等利回りの向上に努めました。今後とも安全で安定的な運用を基本として運用利回りの向上に努めてまいります。

■満期保有目的の債券

単位：百万円

	種 類	2021年9月			2022年9月		
		" 貸借対照表計上額 "	時価	差額	" 貸借対照表計上額 "	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を 超えないもの	外 国 証 券	200	197	▲ 2	200	186	▲ 13
合 計		200	197	▲ 2	200	186	▲ 13

（注）1.時価は、期末日における市場価格等に基づいております。 2.市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めておりません。

■その他有価証券

単位：百万円

	種 類	2021年9月期			2022年9月期		
		" 貸借対照表計上額 "	取得原価	差額	" 貸借対照表計上額 "	取得原価	差額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	株 式	165	94	71	151	91	59
	債 券	12,532	12,301	231	8,304	8,167	136
	国 債	3,159	3,119	40	2,015	1,999	15
	地 方 債	3,507	3,449	58	3,083	3,049	34
	社 債	5,866	5,732	134	3,204	3,118	86
	外 国 証 券	1,437	1,399	38	580	515	65
	そ の 他	6,675	6,271	404	3,021	2,704	316
	小 計	20,811	20,066	745	12,057	11,480	577
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	株 式	39	45	▲ 6	52	60	▲ 8
	債 券	702	702	0	4,665	4,708	▲ 43
	国 債	-	-	-	1,468	1,491	▲ 23
	地 方 債	99	100	▲ 0	1,389	1,399	▲ 10
	社 債	602	602	▲ 0	1,808	1,816	▲ 8
	外 国 証 券	595	600	▲ 5	1,663	1,763	▲ 99
	そ の 他	4,901	5,058	▲ 157	8,001	9,144	▲ 1,143
	小 計	6,239	6,406	▲ 167	14,382	15,676	▲ 1,294
合 計		27,050	26,472	578	26,439	27,156	▲ 716

（注）1.時価は、期末日における市場価格等に基づいております。 2.市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めておりません。

店舗網

①本店営業部



唐津市大名小路310番地の35

☎ (0955) 73-3105

②朝日町支店



唐津市朝日町1095

☎ (0955) 72-8271

③西唐津支店



唐津市西唐津2丁目6223-23

☎ (0955) 72-8341

④浜崎支店



唐津市浜玉町浜崎1269

☎ (0955) 56-6814

⑤相知支店



唐津市相知町相知1948

☎ (0955) 62-2555

⑥和多田支店



唐津市和多田南先石8-2

☎ (0955) 74-7101

⑦町田支店



唐津市町田1丁目8-3

☎ (0955) 74-4421

⑧山本支店



唐津市山本1502-3

☎ (0955) 78-1146



店外キャッシュコーナー

- まいづるショッピングプラザ 唐津市大名小路24-1
- イオン唐津店 唐津市鏡4671